

欧州特許庁、欧州発明者賞の受賞者である吉野彰氏のノーベル化学賞受賞を公表

2019年10月10日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、2019年10月9日、欧州発明者賞2019の受賞者である日本の化学者の吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞することが決定した旨、ニュースリリースにて公表した。

本ニュースリリースによれば、EPOのAntónio Campinos長官は、「我々は、この名誉ある受賞について、吉野博士にお祝いを申し上げたい。科学及び研究への同氏の献身は、経済に顕著な効果をもたらし、社会変革の多大な推進力となっている。」旨述べた、としている。

欧州発明者賞は、EPOが、科学の進歩、社会、経済的繁栄及び雇用創出等に大きく貢献した発明の発明者を毎年表彰するものであり、リチウムイオン電池を発明した吉野彰氏は、2019年に「非EPO諸国」部門で欧州発明者賞を受賞していた。

また、本ニュースリリースによれば、「現在、同氏の発明は、世界中で約50億の携帯電話に使われており、電気自動車の出現を可能にした。リチウムイオン電池の世界市場は、2017年に265億ユーロと推定され、2025年までに800億ユーロを超えると予測されている。」等、としている。

－ 欧州特許庁のニュースリリースは、以下参照 －

[Akira Yoshino, European Inventor Award winner, honoured with Nobel Prize](#)

－ 欧州発明者賞に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁、欧州発明者賞2019の受賞者を発表（2019年6月20日）\(PDF\)](#)

[欧州特許庁、欧州発明者賞2019のファイナリストを公表（2019年5月7日）\(PDF\)](#)

(以上)